

令和 5年 6月 20日

長野県知事 様

## 年度長野県産業廃棄物3R実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物3R実践計画書を提出します。

協定期間	令和5年度から令和7年度	
会社名	株式会社 北野	
住所	〒399-9421 北安曇郡小谷村大字中小谷丙2071番地3	
代表者名	代表取締役社長 太田 喜彦	
業種	製造業 ・ 建設業	
処理施設 所在地 (処理施設を有する場合)	施設名	所在地
担当部署	総務部	
担当者名	武田 一男	
連絡先	TEL	0261-82-2603
	FAX	0261-82-2046
	電子メールアドレス	k-takeda@ktnet.co.jp
ホームページアドレス	http://www.kitanogumi.wixsite.com/website	

## 1 産業廃棄物3R実践方針

各作業所が産業廃棄物の発生を減らすために以下の行動を実施する。

- ①発注材料は、現場で余らないよう工夫し事前計画をたてる。
- ②現場仮設工で使用する掲示板、看板、資材等は再利用を繰り返しできるだけ丁寧  
に取扱いをし、保管する。
- ③現場から発生する特定建設資材は異物等が混入しないよう注意を払う。

## 2 排出抑制、リサイクルのための目標値及び過年度実績値

	5年度目標値	4年度実績値	3年度実績値	2年度実績値
総排出量の推移 (t・kg・m <sup>3</sup> )	500	536.4	1330.8	2578.2
リサイクル量の推移 (t・kg・m <sup>3</sup> )	500	536.4	1330.8	2578.2
売上高の推移 (円)	870,000,000	872,724,212	891,043,118	732,233,902

### 3 排出抑制、リサイクルのための取組内容

- ・工事で発生する伐採木は現場施工前の測量により残せる立木を見極めたことにより、必要最小限の伐採量で搬出する。
- ・工事解体に伴うコンクリート殻、As 殻は異物、汚れが混在しないようストックヤードで仕分け作業を行う。
- ・生コンクリート等の発注量は実測、図面により詳細に計算の上、生産工場へ注文する。
- ・As 合材、砕石等の発注に関しては顧客の指示がなければ再生材材料を使用する。
- ・仮設工で使用したフレコンバッグは泥汚れなどの付着物を可能な限り除去をして処理業者へ持ち込む。

以下の観点も参考としていただいで構いません。（必要に応じ写真等を添付してください。）

- ・産業廃棄物処理責任者等
  - ・産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開
  - ・産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明(処理施設を有する場合)
  - ・処理を委託する処理業者(施設)の現地確認計画
  - ・従業員教育(研修)計画
  - ・リサイクル促進に向けた取組(計画段階、実施段階での工夫など)
  - ・処理委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者責任の徹底
  - ・不適正処理を発見した場合の協力体制
  - ・自社処理廃棄物の管理方法(自社処理を行っている場合)
  - ・独自に取り組む事項
- 代替素材への転換(化石燃料由来プラスチック製品等からバイオマスプラスチックなど環境負荷の低い素材や製品へ転換していくこと)、環境認証制度等の取得(環境 ISO 14001、エコアクション 21 等)、電子マニフェスト(公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター)の導入等。

### 4 リサイクル製品使用率目標値

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量（％）

製品（材料）種別	当年度目標値	過年度実績値		
	5年度目標値	4年度実績値	3年度実績値	2年度実績値
As合材	100	88.5	100	46.8
砕石	90	83.2	82.8	60.2
全体				